

平成25年12月4日

平成24年度 原子力防災訓練について

刈羽村 総務課

1 訓練の概要等について

実施日 平成25年3月23日（土）

参加者 村職員42名、消防団員42名、一般参加者109名、合計193名
大型バス3台により柏崎刈羽原子力発電所から30km圏外の湯沢町に避難。

2 課題、問題点等について

- ・当日の風向きを反映して避難先を決定するが、避難途中で風向きが変わった場合の対応をどうするか。
- ・オフサイトセンターの機能・役割が明確でない。
- ・15条通報（FAX）に時間を要した。15条通報は、避難決定の重要な情報になる。災害時においては、限られた時間内に得られる確実性の高い情報に基づき住民等の防護措置を的確かつ迅速に講じることが必要であり、今後の課題である。
- ・避難所では、対応する職員の数が足りなかった。
- ・避難時の渋滞の想定をどのように考えるか。

3 今後の対策等について

- ・平成25年7月4日に東京電力と覚書きを交わし、衛星FAXを導入し、通常のFAXに加え、情報手段を強化した。
- ・オフサイトセンターからの情報については、今後、国、県、関係市町村とオフサイトセンターの在り方について検討したい。
- ・防災計画の修正に関しては、安定ヨウ素剤の配布・服用等について追加・修正する。
- ・訓練における教訓は整理したうえで、県防災計画の修正動向も見ながら村の防災計画に反映させる。
- ・有事の際の対応に資するような効果的な訓練を国、県、市町村、自衛隊、警察、消防など関係機関と連携して対応していきたい。